

1－2 中川まちづくりプラン【早淵川の魅力アップ】

都筑区まちづくりプラン（30 頁参照）

[1-1] 緑と水のネットワークづくり

- ・ 緑や水の歩行者・自転車ネットワークづくり
- ・ まちづくりの機会を捉えた適切な公園整備
- ・ 身近な公園の不足している地域での公園整備
- ・ 自転車と歩行者等の共存等、新たな安全対策の検討
- ・ 全ての人が緑に触れることのできるバリアフリーの空間づくり
- ・ 魅力スポットを巡る散策マップの作成・活用

[1-2] 樹林地・農地の保全と整備

- ・ 早淵川沿いの斜面緑地や南部地域のまとまりのある樹林地について、特別緑地保全地区の指定等による良好な樹林地の保全・整備・活用
- ・ 港北ニュータウン建設事業により形成された事業所や集合住宅の敷地にある保存緑地の適切な保全・管理
- ・ 農業専用地区等の優良農地の保全

[1-5] 親しみやすく生態系に配慮した水辺環境づくり

- ・ 区民が河川を身近に感じ、河川環境を守るためのレクリエーション活動や河川空間の美化活動の推進・支援、水辺の愛護会活動等の区民活動の支援
- ・ 適正な下水処理による河川の水質浄化と処理水の有効利用
- ・ 河川を基軸とした地域の生物多様性を守る取組
- ・ 早淵川の親水空間や歩行者空間の整備検討

1. 地域内の早淵川流域の現状と課題

< 現況 >

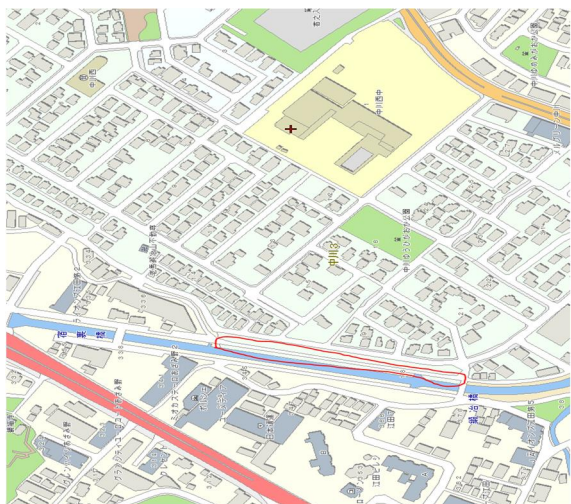
早淵川は青葉区から中川 3、4、8 丁目を流れている。川の周りの中川 3 丁目付近が住宅地になっているが、4 丁目、8 丁目は水田、果樹園が広がる農業地帯となっている。川周辺の土地は大半が市街化調整区域となっているが、資材置き場、住宅も建てられてきた。川沿いの道は大半が車の進入が禁止され、田園風景と鯉や白鷺を見ながら散歩やサイクリングできる場所となっている。

< 課題 >

早淵川流域の素晴らしい緑と水の自然を将来に引き継ぎ、老若男女が楽しく健康的な生活を送れる環境を整備していく必要がある。都市化により壊された環境は、後戻りすることはできないので、10 年先を考えた環境の保護、魅力アップを行っていく必要がある。

改善項目	検討会で出された実情と意見	解決の方向性	行政の主管	地域の主管
早渕川側道の改善	(実情) 早渕川側道周辺の無秩序な都市化の進行が懸念される。	・早渕川側道は、川、農業、自然を楽しめる場所なので、車進入禁止の自転車、歩行者道路にする。 ・都筑区を横断する自転車道路としても有効である。	神奈川県横浜治水事務所 都筑土木事務所	ぐるっと緑道
	(実情) ・国道246号から川沿いは車道となっており、宿裏橋下から鍛冶橋までは河川管理用車両のみ通行できることになっていた。しかし、国道246新石川立体交差工事後、車止めが外され、一般車両が246号から3丁目に抜ける通過道路となっている。 ・河川管理用道路は、道路交通法が適用される道路ではないが、管理者が許可すれば、一般車も通過できる。 ・この河川管理道路の横に横浜市道路局河川事業課所有の鉄パイプで囲まれた土地がある。 ・10年前に水と緑の魅力アップ推進委員会と市で現地調査を行い、公園化が計画されたが、予算上の問題で実現に至っていない。 (意見) ・狭い道なので車と自転車、人が交錯して危険である。また、せっかくの散歩道が使えなくなっている。	(第1ステップ) ・河川管理道路はそのままにして、横浜市有地を使って緑化などによる魅力アップと歩行者の安全対策の両立を図る。 (第2ステップ) ・河川管理用道路の一般車通行禁止にした場合の周辺道路への影響を調査し、早渕川の魅力アップと周辺も含めた交通安全の観点から土地利用を検討する。	神奈川県横浜治水事務所 都筑土木事務所	中川西町内会 ぐるっと緑道

改善項目	検討会で出された実情と意見	解決の方向性	行政の主管	地域の主管
	・危険な道路で、車の通行禁止が望ましいが、禁止した場合、通れない車が狭い老馬鍛冶不動尊前の道路などを迂回し、周辺道路への悪影響が懸念される(中川西町内会)。			
	(実情) ・早渕川側道は柚木の中荏橋、横浜生田線(矢崎橋)と一般道(矢先橋)交差するので、車道を渡る時、自転車の飛び出しに危険がある。 ・交差道路には横断歩道が設置されているが、人がいても止まる車はほとんどない。	・主要車道の全てに横断歩道を設置する。 ・車の交通規則遵守を徹底する。	都筑土木事務所 都筑警察署	ぐるっと緑道
	(実情) 早渕川沿いの道路は木陰が無く暑い。 (意見) 現在、市街化調整区域で農業が行われているが、市街化される際には道路沿いの緑化が必須である。	・路幅の広いところには、街路樹を植えて休憩場所を作る。	神奈川県横浜治水事務所 都筑土木事務所	ぐるっと緑道
早渕川の改善	(意見) 親水施設を設置するなど早渕川岸辺階段を再整備する。	「早渕川の魅力アップ方針」に委ねる。	神奈川県横浜治水事務所 都筑土木事務所	ぐるっと緑道
	(意見) 早渕川の護岸をもっと自然の形に戻せないか。自然の保護か、木や草を刈るか様々な意見がある。	早渕川の魅力アップ方針に委ねる。	神奈川県横浜治水事務所 都筑土木事務所	ぐるっと緑道



中川3丁目、鍛冶橋付近



10 年位前から、河川管理道路の柵が外され、狭い道を車が通る



河川管理道路の横には、横浜市道路局が管理する空地



中川3丁目早渕川鍛冶橋付近は旧大山街道から荏田宿に入る入口



早渕川側道は大半が自動車の進入禁止となっている



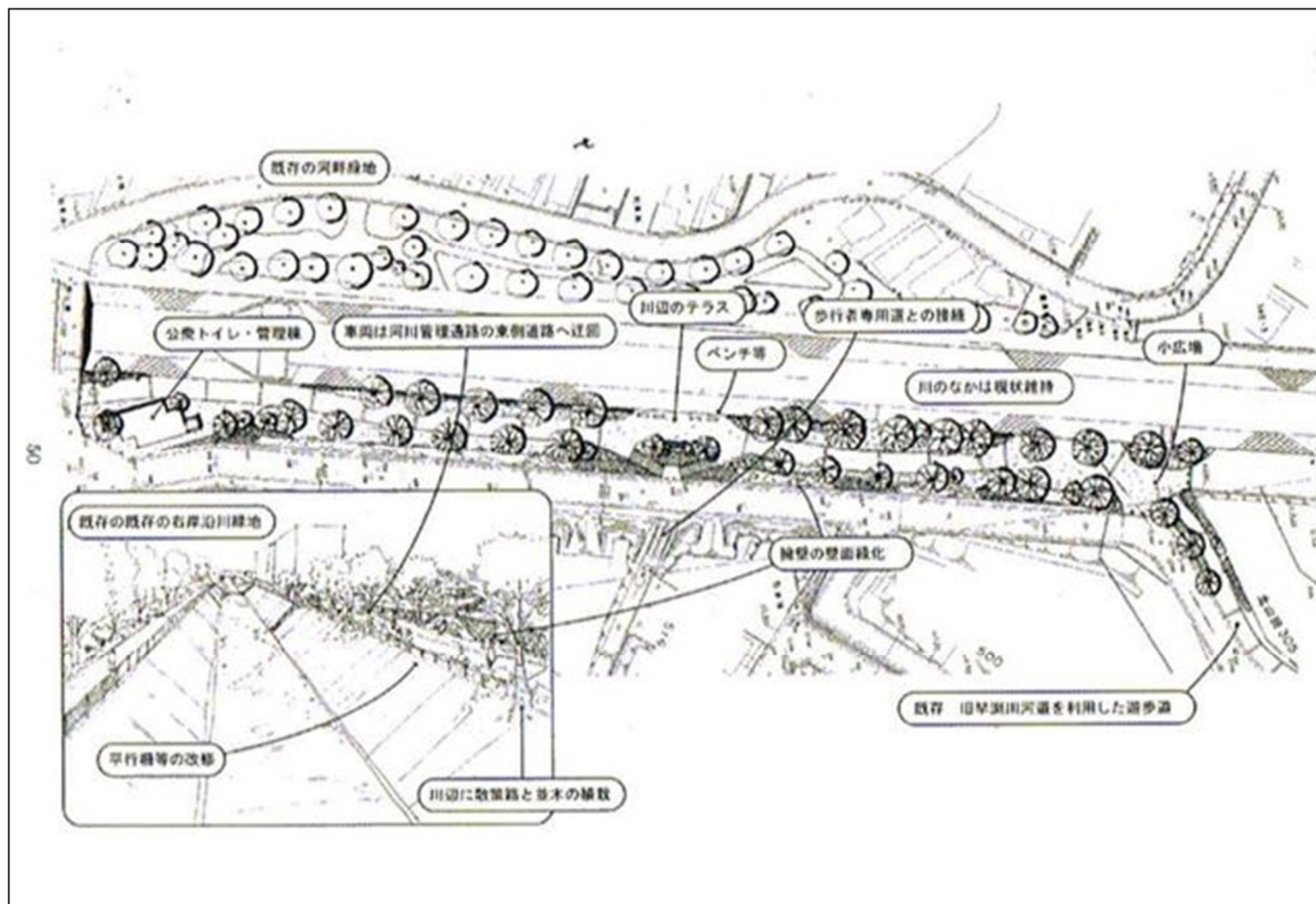
早渕川の中川4丁目付近は、水田、果樹園等の農業地帯

※ 鍛冶橋付近の公園化について以前の検討

約 10 年前検討が行われた「水と緑の魅力アップ推進委員会報告書」の第 3 部会報告書のうちの市有地の活用の項目である。

↓この 3 ページ目 c) 既存の河川残地等を利用した整備案

<http://www.city.yokohama.lg.jp/tsuzuki/kusei/pdf/2-32.pdf>



(現在の状況)

「西の拠点」として、鍛冶橋付近の残地を公園化して活用しようではないかという提案だった。

この残地は、横浜市の市有地ということで、このパースを作成するまでに現地踏査と市の管轄部署との連携が行われた。通過交通車両も少ないので、ルート整備さえはつきりさせれば十分整備可能な案とはなったものの、予算面での折り合いがつかず実現には至っていない